

# 2021年3月期 第2四半期 決算説明資料

2020年11月12日  
株式会社加藤製作所



## I. 2021年3月期 第2四半期 連結決算概要

1. 連結業績サマリー	P.2
2. 連結業績推移	P.3-P.4
3. 連結損益計算書	P.5
4. 営業利益の増減分析	P.6
5. 連結貸借対照表	P.7
6. 連結キャッシュ・フロー計算書	P.8
7. 連結主要品目別売上高推移	P.9-P.12
8. 連結仕向地別売上高推移	P.13

## II. 2021年3月期 連結業績予想

1. 2021年3月期 連結業績予想	P.14
--------------------	------

## III. TOPICS

1. ミニショベルHDV5シリーズ・7機種 新発売	P.15
2. 真空式万能吸引車(クローラキャリア式)IC75MV 新発売	P.16

# 連結業績サマリー

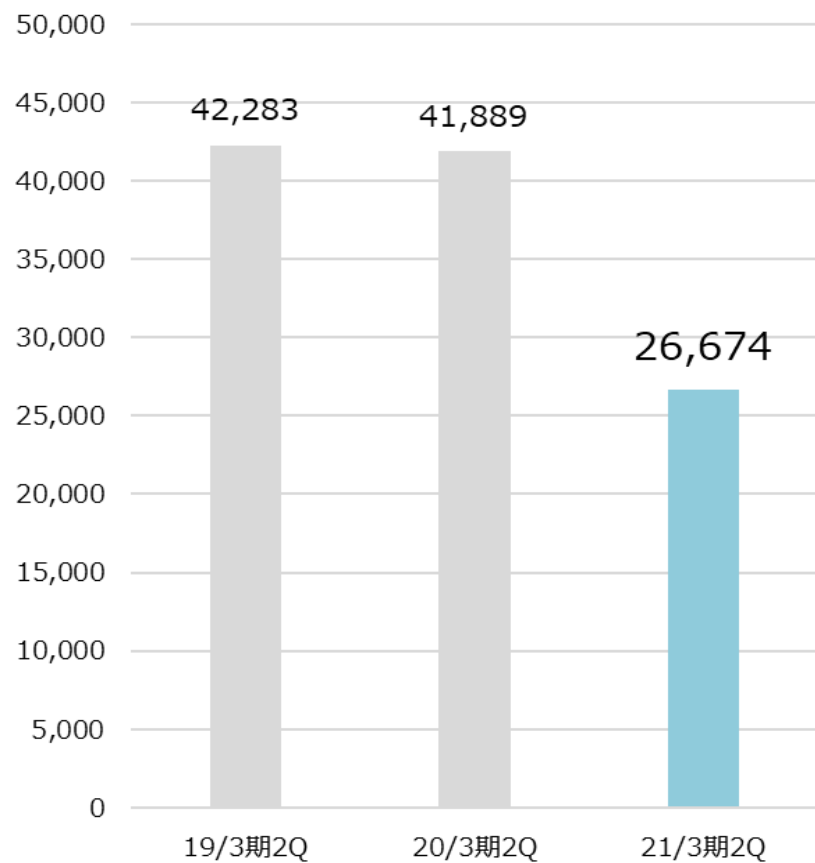
- 国内売上高及び海外売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少
- 経費削減に努めるものの、新型コロナウイルス感染症の影響による生産効率の悪化、工場増設に伴う減価償却費の増加により利益率が悪化

	前期実績 (2020年3月期 第2四半期)	当期実績 (2021年3月期 第2四半期)	(単位：百万円) 前年同期比 ( )内は増減率
売上高	41,889	26,674	△15,215 (△36.3%)
営業利益	686	△1,522	△2,209 (-)
経常利益	432	△1,126	△1,559 (-)
親会社株主 当期純利益	△51	△1,310	△1,259 (-)
1株当たり 配当金 (円)	中間 15.00 期末 15.00 年間 30.00	中間 0.00 期末 10.00 ※ <sup>1</sup> 年間 10.00 ※ <sup>1</sup>	

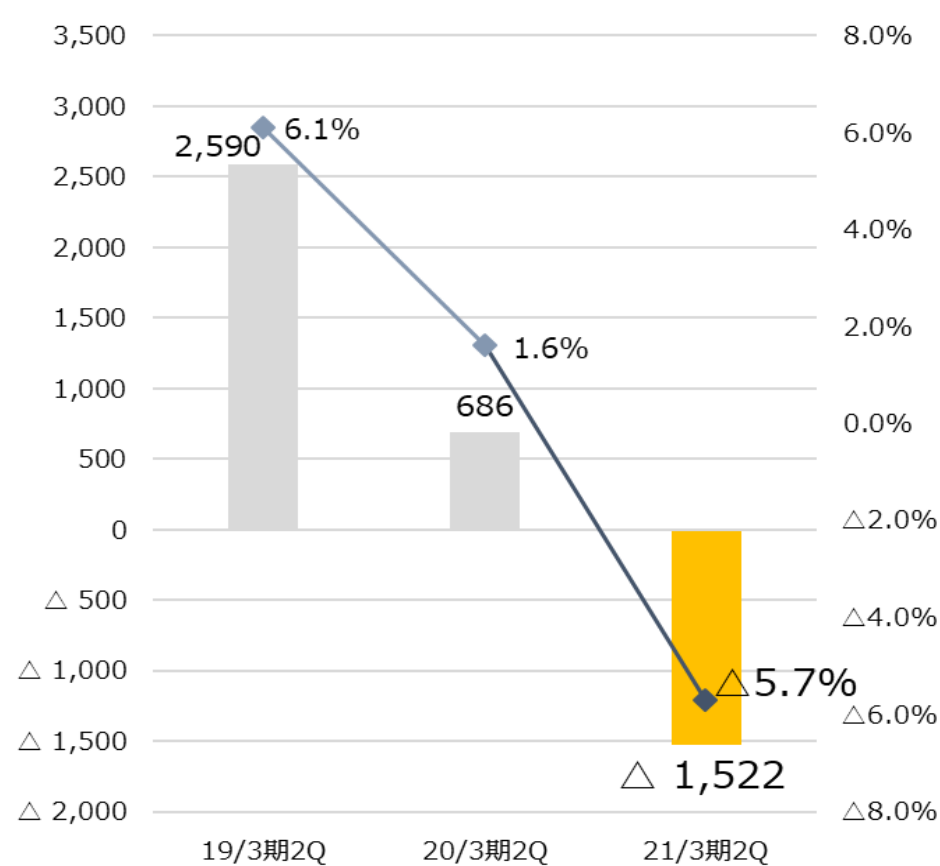
※<sup>1</sup> 2021年3月期の1株当たり期末・年間配当金の予想額です。

(単位：百万円)

売上高



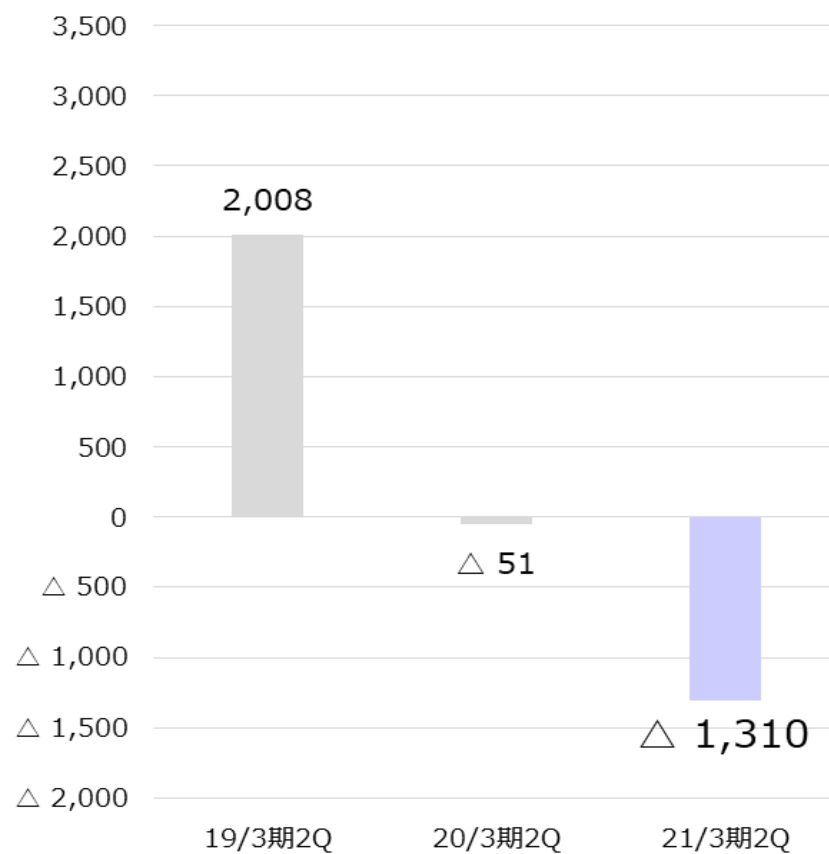
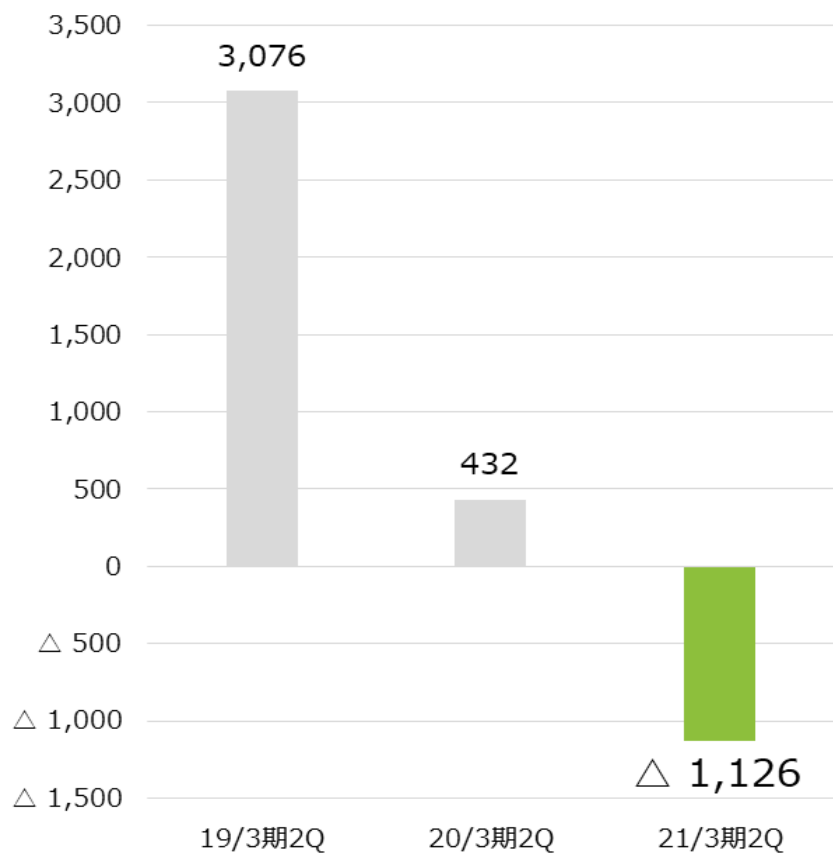
営業利益・営業利益率



(単位：百万円)

経常利益

親会社株主当期純利益



# 連結損益計算書

	2020年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期		前年同期比	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	41,889	100.0%	26,674	100.0%	△ 15,215	△36.3%
売上原価	36,416	86.9%	24,035	90.1%	△ 12,380	△34.0%
売上総利益	5,473	13.1%	2,638	9.9%	△ 2,834	△51.8%
販管費	4,786	11.4%	4,161	15.6%	△ 625	△13.1%
営業利益	686	1.6%	△ 1,522	△5.7%	△ 2,209	-
営業外損益	△ 254	△0.6%	396	1.5%	650	-
経常利益	432	1.0%	△ 1,126	△4.2%	△ 1,559	-
特別損益	△ 297	△0.7%	108	0.4%	405	-
税前利益	135	0.3%	△ 1,018	△3.8%	△ 1,153	-
法人税等	151	0.4%	316	1.2%	165	108.9%
非支配株主当期純利益	34	0.1%	△ 24	△0.1%	△ 59	-
親会社株主当期純利益	△ 51	△0.1%	△ 1,310	△4.9%	△ 1,259	-

(単位：百万円)

## ➤ 売上高

- 連結売上高は、前年同期比で36.3%減少
- 海外売上高比率は、前年同期と同様の26.4%

## ➤ 営業外損益

- 当期の営業外収益は、746百万円（前年同期281百万円）
- 営業外費用は、為替差損が前年同期比323百万円減少  
349百万円（前年同期536百万円）

## ➤ 販管費

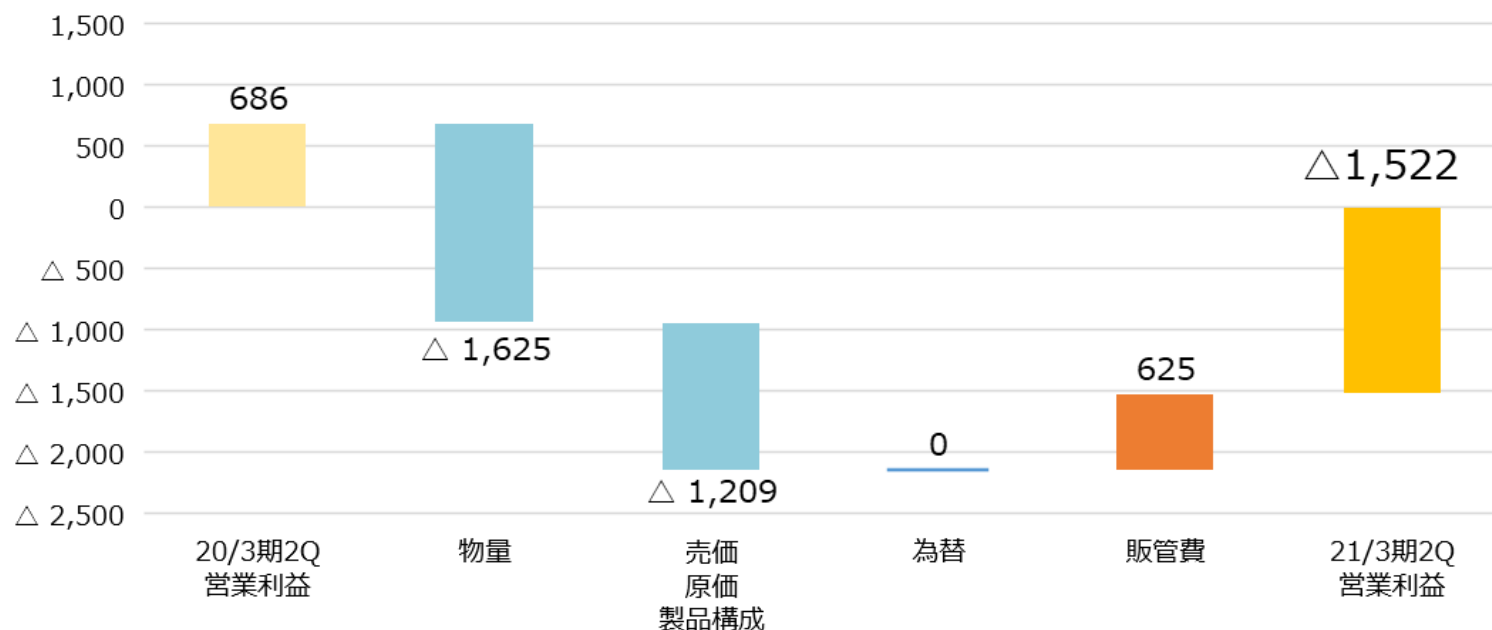
- 人件費及び支払運賃等の減少により前年同期比625百万円減少

## ➤ 経常利益及び親会社株主当期純利益

- 経常利益は、前年同期比1,559百万円減少
- 当期の特別利益は、土地売却益108百万円を計上したため、  
108百万円（前年同期229百万円）
- 親会社株主当期純利益は、前年同期比1,259百万円減少

# 営業利益の増減分析

(単位：百万円)



## ▶ 営業利益増減要因

- ・物量の減少により
- ・売価/原価/製品構成の変動により
- ・為替の変動により
- ・販管費の減少により

△1,625百万円

△1,209百万円

0百万円

625百万円

▶ △2,209百万円

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

			2020年3月期		2021年3月期 第2四半期		前期末比
			金額	比率	金額	比率	増減額
資産 の 部	流動 資産	手許資金	11,101	8.9%	11,050	9.4%	△ 50
		売上債権	39,284	31.3%	30,116	25.5%	△ 9,167
		たな卸資産	45,291	36.1%	46,558	39.5%	1,266
		その他	△ 2,270	△1.8%	△ 2,313	△2.0%	△ 43
		<b>流動資産計</b>	<b>93,406</b>	<b>74.5%</b>	<b>85,411</b>	<b>72.4%</b>	<b>△ 7,994</b>
	固定 資産	有形固定資産	25,142	20.1%	25,772	21.9%	630
		無形固定資産	467	0.4%	440	0.4%	△ 27
		投資その他の資産	6,376	5.1%	6,278	5.3%	△ 98
		<b>固定資産計</b>	<b>31,987</b>	<b>25.5%</b>	<b>32,491</b>	<b>27.6%</b>	<b>504</b>
	<b>資産合計</b>		<b>125,393</b>	<b>100.0%</b>	<b>117,903</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 7,490</b>
負債 ・ 純 資産 の 部	負債	仕入債務	21,104	16.8%	14,195	12.0%	△ 6,909
		有利子負債	43,357	34.6%	44,877	38.1%	1,519
		その他	5,362	4.3%	4,690	4.0%	△ 671
		<b>負債計</b>	<b>69,824</b>	<b>55.7%</b>	<b>63,763</b>	<b>54.1%</b>	<b>△ 6,060</b>
	純 資産	利益剰余金	43,539	34.7%	42,053	35.7%	△ 1,486
		評価換算差額等	1,010	0.8%	1,133	1.0%	123
		その他	11,019	8.8%	10,952	9.3%	△ 66
		<b>純資産計</b>	<b>55,569</b>	<b>44.3%</b>	<b>54,139</b>	<b>45.9%</b>	<b>△ 1,429</b>
	<b>負債・純資産計</b>		<b>125,393</b>	<b>100.0%</b>	<b>117,903</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 7,490</b>

▶ 売上債権の減少

39,284百万円 → 30,116百万円  
 → 売上債権回転期間は22日悪化  
 (20/3月期 : 184.1日  
 21/3月期2Q : 206.1日)

▶ 仕入債務の減少

21,104百万円 → 14,195百万円  
 → 生産調整による原材料費等の減少



# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

		2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期
		金額	金額
営業キャッシュフロー	税前利益	135	△ 1,018
	減価償却費	974	1,024
	売上債権増減額	1,511	9,235
	たな卸資産増減額	△ 958	△ 1,513
	仕入債務増減額	△ 2,378	△ 6,856
	その他	364	△ 670
	<b>営業キャッシュフロー計</b>	<b>△ 350</b>	<b>200</b>
投資キャッシュフロー	固定資産取得	△ 4,392	△ 1,787
	その他	3	△ 138
	<b>投資キャッシュフロー計</b>	<b>△ 4,389</b>	<b>△ 1,925</b>
財務キャッシュフロー	有利子負債増減額	3,819	1,602
	その他	△ 514	△ 113
	<b>財務キャッシュフロー計</b>	<b>3,304</b>	<b>1,489</b>
増減額	換算差額	△ 205	29
	<b>増減額計</b>	<b>△ 1,640</b>	<b>△ 206</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>		<b>14,255</b>	<b>11,101</b>
新規連結に伴う 現金及び現金同等物の増加額		97	-
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>		<b>12,712</b>	<b>10,895</b>

▶ 売上債権の減少

→ 債権の回収が進むものの、売上高の減少による

▶ 仕入債務の減少

→ 債務の支払いが進み、生産調整による原材料費等の減少

# 連結主要品目別売上高推移

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期		2020年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
<b>建設用クレーン</b>								
国内売上高	21,483	50.8%	23,971	57.2%	14,192	53.2%	△ 9,778	△40.8%
海外売上高	3,839	9.1%	2,804	6.7%	1,776	6.7%	△ 1,027	△36.6%
計	<b>25,323</b>	<b>59.9%</b>	<b>26,776</b>	<b>63.9%</b>	<b>15,969</b>	<b>59.9%</b>	<b>△ 10,806</b>	<b>△40.4%</b>
<b>油圧ショベル等</b>								
国内売上高	6,318	15.0%	6,451	15.4%	5,024	18.8%	△ 1,427	△22.1%
海外売上高	10,162	24.0%	8,243	19.7%	5,273	19.8%	△ 2,969	△36.0%
計	<b>16,480</b>	<b>39.0%</b>	<b>14,695</b>	<b>35.1%</b>	<b>10,298</b>	<b>38.6%</b>	<b>△ 4,397</b>	<b>△29.9%</b>
<b>その他</b>								
国内売上高	438	1.0%	418	1.0%	406	1.5%	△ 12	△2.9%
海外売上高	39	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	△100.0%
計	<b>478</b>	<b>1.1%</b>	<b>418</b>	<b>1.0%</b>	<b>406</b>	<b>1.5%</b>	<b>△ 12</b>	<b>△3.0%</b>
<b>合計</b>								
国内売上高合計	28,240	66.8%	30,841	73.6%	19,623	73.6%	△ 11,218	△36.4%
海外売上高合計	14,042	33.2%	11,048	26.4%	7,050	26.4%	△ 3,997	△36.2%
計	<b>42,283</b>	<b>100.0%</b>	<b>41,889</b>	<b>100.0%</b>	<b>26,674</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 15,215</b>	<b>△36.3%</b>

## 国内売上高は減少

→ 建設用クレーン：新型コロナウイルス感染症の影響により、販売台数が減少し、売上高は大幅に減少

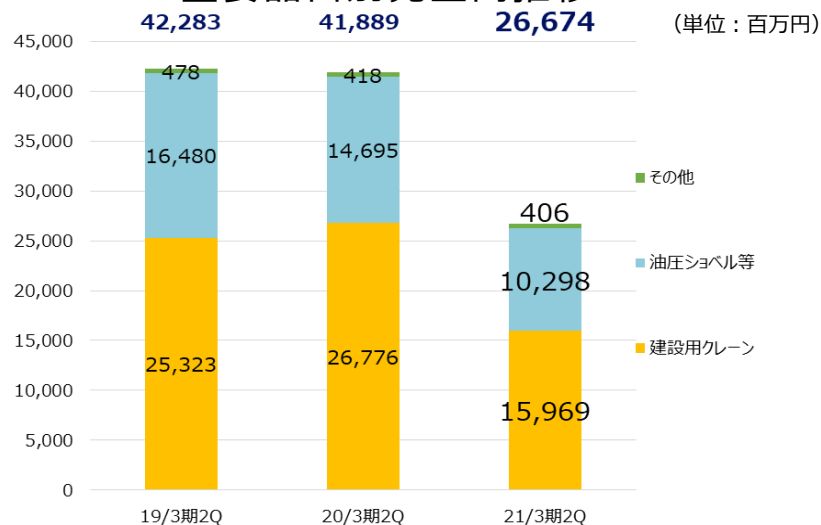
→ 油圧ショベル等：ショベル・ミニショベルともに売上高は減少

## 海外売上高は減少

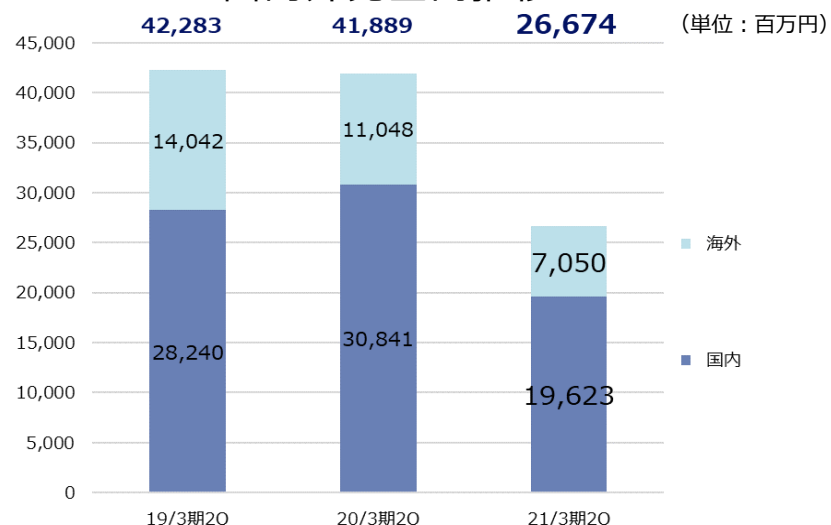
→ 建設用クレーン：台湾や香港への輸出は増加したものの新型コロナウイルス感染症の影響により、需要は減少し、売上高は大幅に減少

→ 油圧ショベル等：新型コロナウイルス感染症の影響により、売上高は大幅に減少

## 主要品目別売上高推移



## 国内外売上高推移



# 連結主要品目別売上高推移（建設用クレーン）



## 【主要製品紹介】

（単位：百万円）

### ラフテレーンクレーン

- 1つの運転室で走行とクレーン操作が可能
- 不整地走破性と小回り性に優れたクレーン
- 国内向け（4.9t～80t 7機種）
- 国外向け（13t～70t 8機種）



### オールテレーンクレーン

- 走行用とクレーン操作でそれぞれ独立した運転室を持つ
- 高速走行性と不整地走破性を兼ね備えたクレーン
- 国内向け（110t～400t 5機種）
- 国外向け（130t～300t 2機種）

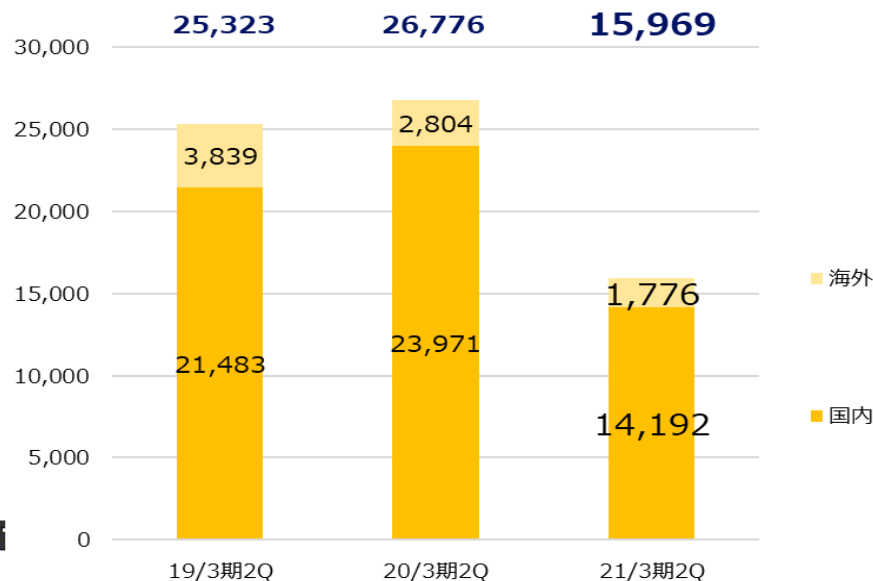


### クローラクレーン

- ラチスブームは組み合わせにより多様な現場に対応可能
- テレスコブームはブーム伸縮により早いセットアップが可能
- 国内向け（50t～200t 6機種）
- 国外向け（55t～300t 7機種）



## 売上高推移



#### ▶ 国内

→ 新型コロナウイルス感染症の影響により、海外向けの中古車市場の動きが停滞し、新車の買い替え時期が先延ばしとなり需要が減少したため、売上高は9,778百万円の減少

#### ▶ 海外

→ 台湾や香港への出荷は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により各地域で需要が減少し、売上高は1,027百万円の減少

## 【主要製品紹介】

### 油圧ショベル

- ・ クローラ式走行部を有する掘削機械
- ・ 不特定の場所を自走できる
- ・ 頑丈で操作性が良い
- ・ 国内向け (8t~30t 6機種)
- ・ 国外向け (8t~38t 12機種)



### ミニショベル

- ・ 小型の油圧ショベル
- ・ 小回りが効くため、多様な現場で活用可能
- ・ 国内向け (0.9t~8t 15機種)
- ・ 国外向け (0.9t~13t 22機種)



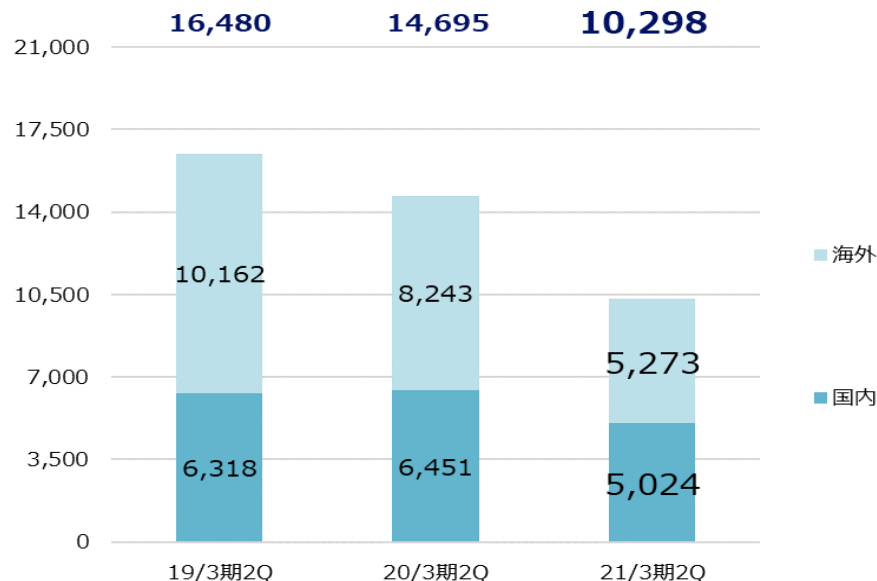
### クローラキャリア

- ・ 不特定の場所を自走できる運搬機械
- ・ 作業効率が良く多彩な現場で活用可能
- ・ 国内向け (3.7t~11t 6機種)
- ・ 国外向け (3.7t~11t 4機種)



## 売上高推移

(単位: 百万円)



### ▶ 国内

→ 新型コロナウイルス感染症の影響により、買い替え時期が先延ばしとなり需要が減少し、売上高は1,427百万円の減少

### ▶ 海外

→ 中国は新型コロナウイルス感染症の感染拡大が抑えられ、いち早く経済活動を再開し需要が高まったものの、現地メーカーによる販売価格の引き下げ攻勢に苦戦を強いられた。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、欧州を中心に営業活動が制限されたことなどから、売上高は2,969百万円の減少

## 【主要製品紹介】

### 路面清掃車

- 高い清掃能力とコンパクト化を両立
- 人に優しい低騒音・高効率スイーパ
- 国内向け（2機種）
- 国外向け（個別対応）



### 万能吸引車

- 汚泥から粉粒体まで、多様な吸引車
- 小型から大型まで多機種を取り揃えた多彩なラインナップ
- 国内向け（9機種）
- 国外向け（個別対応）



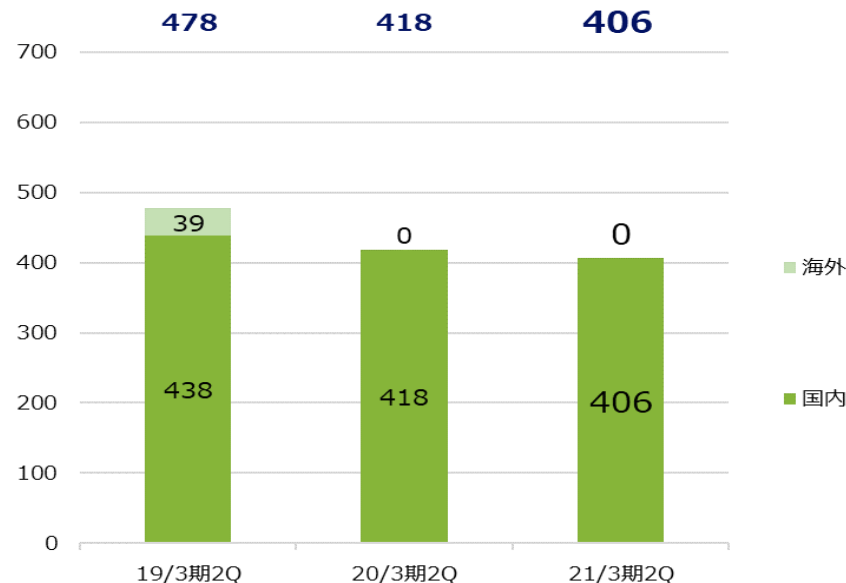
### スノースイーパ

- 強力なブラシ＆ブロー式を採用
- スピーディで効率の良い除雪作業を実現
- 国内向け（5機種）
- 国外向け（個別対応）



（単位：百万円）

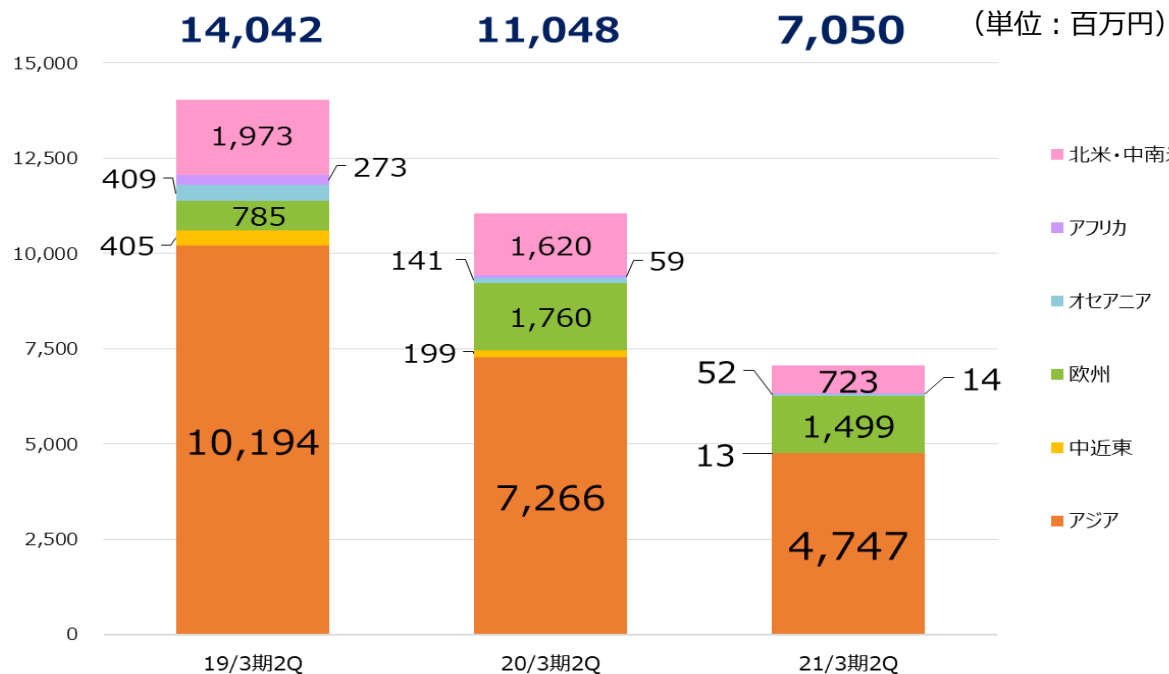
## 売上高推移



### ▶ 売上高の減少

→売上高は前年同期並で12百万円の微減

# 連結仕向地別売上高推移（日本除く）



## ▶ アジア向け販売の減少

→中国での売上が減少するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響によりアジア各地域で需要が減少し、売上高が大幅に減少

## ▶ 欧州向け他、各地域での販売が減少

→新型コロナウイルス感染症の感染拡大は各地域の需要に影響し、多くの地域で売上高が減少

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期		2020年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期		前年同期比		総売上高構成比
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
アジア	10,194	72.6%	7,266	65.8%	4,747	67.3%	△ 2,518	△34.7%	17.8%
中近東	405	2.9%	199	1.8%	13	0.2%	△ 186	△93.2%	0.1%
欧州	785	5.6%	1,760	15.9%	1,499	21.3%	△ 261	△14.9%	5.6%
オセアニア	409	2.9%	141	1.3%	52	0.7%	△ 89	△62.9%	0.2%
アフリカ	273	1.9%	59	0.5%	14	0.2%	△ 44	△75.2%	0.1%
北米・中南米	1,973	14.1%	1,620	14.7%	723	10.3%	△ 897	△55.4%	2.7%
<b>海外売上高合計</b>	<b>14,042</b>	<b>100.0%</b>	<b>11,048</b>	<b>100.0%</b>	<b>7,050</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 3,997</b>	<b>△36.2%</b>	<b>26.4%</b>

# 2021年3月期 連結業績予想

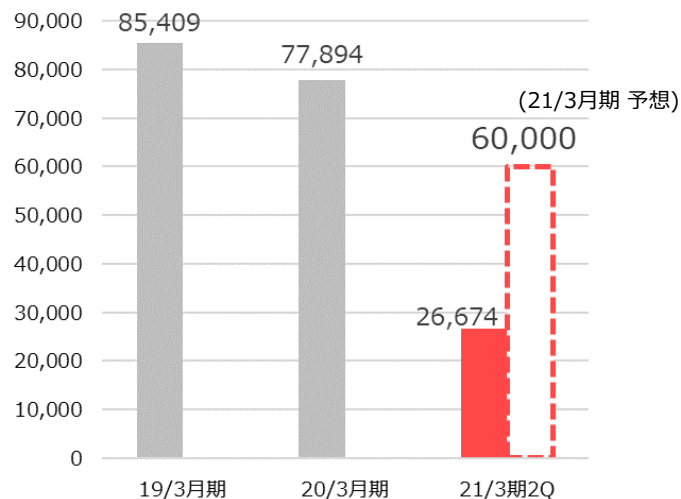
(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期(予想)	
	金額	比率	金額	増減率
<b>売上高</b>	<b>77,894</b>	<b>100.0%</b>	<b>60,000</b>	<b>△23.0%</b>
国内売上高	55,944	71.8%	43,000	△23.1%
海外売上高	21,950	28.2%	17,000	△22.6%
<b>営業利益</b>	<b>△282</b>	<b>△0.4%</b>	<b>△2,600</b>	<b>—</b>
<b>経常利益</b>	<b>△444</b>	<b>△0.6%</b>	<b>△2,500</b>	<b>—</b>
<b>親会社株主当期純利益</b>	<b>△1,329</b>	<b>△1.7%</b>	<b>△2,700</b>	<b>—</b>

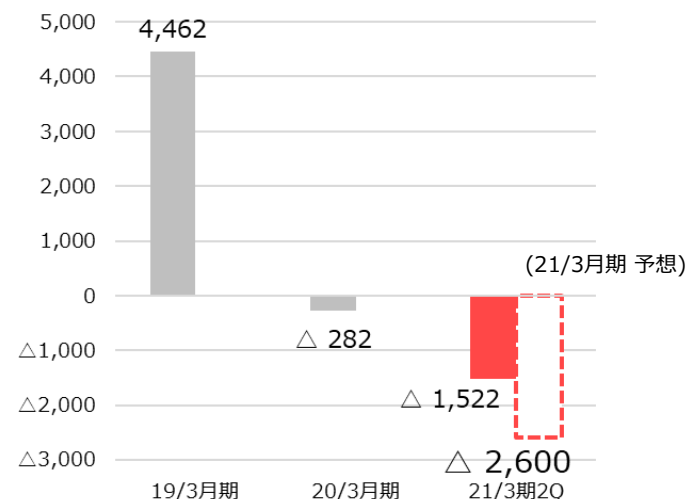
➤ 未定としておりました  
2021年3月期通期連結業績  
予想及び期末配当予想について、  
決定いたしました。

1株当たり 配当金	2020年3月期		2021年3月期(予想)	
	中間 期末 年間			
	中間	15.00円		0.00円
	期末	15.00円		10.00円
	年間	<b>30.00円</b>		<b>10.00円</b>

## 売上高



## 営業利益



## ➤ ミニショベル HDV5シリーズ・7機種 新発売

(HD17V5・HD25V5・HD30V5・HD35V5・HD45V5・HD55V5・HD85V5)

新たに1.7t機を仲間に加え、V4シリーズで評価の高かったメンテナンス性の良さ、頑丈さを引き継ぎ更なる進化を遂げ登場

～2020年4月より～

- ✓ 2柱キャピのTOPS化により安全性が進化
- ✓ セカンダリスイッチの搭載で安全性が進化
- ✓ シリンダーガードを山型にし耐久性、頑丈性が進化
- ✓ モニターのエラー表示によりメンテナンス性が進化
- ✓ 清掃しやすいロアマットによりメンテナンス性が進化
- ✓ 低重心化と安定度UPにより操作性が進化
- ✓ 足元・シート高さの最適化により安定性、快適性が進化





## ➤ 真空式万能吸引車(クローラキャリア式)IC75MV 新発売

MVシリーズで定評のあるKMSブロワを搭載した万能吸引車をIC75に架装

～2020年7月より～

- ✓ 地下埋設物を壊すことなく、水圧で土砂を崩し吸引
- ✓ 水圧による土砂吸引で人的負担も軽減、作業効率アップ
- ✓ 掘削する土壌・状況を選ばないマルチな現場対応力
- ✓ 不整地での吸引作業が可能
- ✓ 粉体もそのまま吸引
- ✓ 新制御方式での採用でスムーズな運転
- ✓ 機外でのホッパ操作も簡単
- ✓ 低コストでメンテナンスも容易



本資料に記載されている現在の計画や今後の見通しに関する内容につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて、計画・予想したものであります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。そのため、本資料におきましては、その実現を確約あるいは保証するものではありません。

## お問合せ先

株式会社加藤製作所  
総務部 IR担当

〒140-0011 東京都品川区東大井1-9-37  
E-Mail:ir-kato@kato-works.co.jp